NEWS CLIP & AV MATERIAL

ニュースクリップ & 映像教材

文部科学省情報

■校務DX紹介ポータルサイト開設

初等中等教育局教育職員政策課働き方改革推進室では、校務DXについての最新情報や事務連絡・イベント情報・参考コンテンツ等をまとめたサイトを開設した。詳細は、https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/hatarakikata/koumudx/ を参照のこと。

＜問い合わせ先＞初等中等教育局教育職員政策課働き方改革推進室校務調整係

MAIL　komu@mext.go.jp

■「プチ学習会」アーカイブ動画・資料公開

初等中等教育局GIGA StuDX推進チームでは、令和８年８月に実施した令和８年度第２回（通算６回目）プチ学習会のアーカイブ動画・資料を公開。今回公開したテーマは以下の通り。

「知りたい！特別支援教育での端末活用」、「ここから知ってみよう！学校のネットワーク」、「知りたい！学校現場における生成AIの利活用」、「知りたい！次世代校務DX環境と教育情報セキュリティ」、「知りたい！情報モラル教育」。詳細は、https://www.mext.go.jp/studxstyle/special/p_gaku-r08.html を参照のこと。

＜問い合わせ先＞初等中等教育局GIGA StuDX推進チーム　MAIL　gigastudx@mext.go.jp

■国立教育政策研究所 令和８年度教育研究公開シンポジウム「生成AI時代の学校教育と教師～人間の果たすべき役割～」動画公開

国立教育政策研究所では、令和８年８月６日に開催したの標記シンポジウムの動画を公開した。

＜内容＞講演やパネルディスカッション。プレゼンテーション資料も公開。詳細は、https://www.nier.go.jp/ より、参照のこと。

＜問い合わせ先＞国立教育政策研究所

MAIL　nier-info@mext.go.jp

■スポーツ庁「私たちの“地域クラブ活動”フェス」動画募集

スポーツ庁では、部活動の地域展開に関する取組の普及・啓発の一環として、標記のフェス開催にあたり、動画を募集している。

＜募集内容＞地域クラブ活動の魅力が伝わる30秒～３分以内のショート動画。

＜募集対象＞地方公共団体（都道府県、市区町村等）。

＜表彰＞スポーツ庁長官賞、自治体特別賞、優秀賞他。

＜締切＞令和８年11月30日（月）正午。

＜問い合わせ先＞「私たちの“地域クラブ活動”フェス2026」事務局

MAIL　jpdt_jsa_sports@tohmatsu.co.jp

AV情報

■第46回「地方の時代」映像祭2026

吹田市、関西大学、日本放送協会、日本民間放送連盟、日本ケーブルテレビ連盟主催により、「地に空に海に平和」をテーマに標記映像祭が開催される。

＜日程＞令和８年11月14日（土）～20日（金）日程により開始時間が異なる。

＜会場＞関西大学千里山キャンパス（大阪府吹田

市山手町3-3-35）
＜内容＞贈賞式、グランプリ受賞作品上映、記念講演、ワークショップ等。
＜問い合わせ先＞「地方の時代」映像祭実行委員会事務局　MAIL　info@chihounojidai.jp

■InterBEE2026

（一社）電子情報技術産業協会主催により、標記メディア総合イベントが開催される。
＜日時＞令和８年11月18日（水）～20日（金）10:00～17:30、20日は17:00まで。
＜会場＞幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬2-1）
＜内容＞音響、映像、照明、通信等の展示、基調講演、セミナー等。登録入場制により無料。
＜問い合わせ先＞InterBEE2026のホームページ「お問い合わせ」より

コンクール・助成情報

■パナソニック教育財団「2027年度第53回実践研究助成」募集

（公財）パナソニック教育財団では、デジタル学習基盤を活用して、教育現場の課題解決・改善に取り組む実践研究を募集している。
＜対象＞小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、在外教育施設、教育委員会・教育センター・教育研究所等。
＜助成種類＞一般、特別研究指定校。
＜助成＞一般最大 50万円、60～70件程度。特別研究指定校 150万円（研究者による学校訪問年３回を２年）、３～５件程度。なお、本助成説明セミナーを令和８年11月12日（木）16:00～17:15、オンラインで開催する。詳細は、https://www.pef.or.jp/school/grant/entry/より、参照のこと。
＜締切＞令和９年１月20日（水）17:00まで。
＜問い合わせ先＞（公財）パナソニック教育財団
MAIL　p-zaidan@pef.or.jp

■JACRAC 国際フェローシップ在外研究員募集

日本音楽著作権協会（JASRAC）は、著作権制度に関する建設的な提言を行うことができる人材育成を目的に、標記の研究員を募集している。
＜応募資格＞著作権法の研究または著作権が関連する領域の研究を行っていること。国内の大学や研究機関などに所属または勤務していること、他。
＜内容＞支度金、渡航費、滞在費、調査研究費、傷害保険料の支給など。
＜締切＞ 令和８年11月30日（月）
＜問い合わせ先＞JASRAC音楽文化事業部 国際フェローシップ係
MAIL　jasracfoundation@jasrac.or.jp

■国立情報学研究所「2027年度共同研究」公募

国立情報学研究所では、わが国の情報学分野での「未来価値創成（学術創成）」を目指し、共同研究を推進するため、標記の公募を行っている。
＜応募要件＞国内の研究機関（大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等に所属する研究者並びにこれらに準ずる研究者、大学院生（ただし、社会人学生に限る）や国内の公法人または非営利法人に所属する研究者。
＜募集研究と助成＞戦略研究公募型（年間上限120万円ただし国際共同研究は140万円）、研究企画会合公募型（年間上限80万円）、自由提案公募型（年間上限80万円ただし国際共同研究は100万円）。
＜申請書提出期限＞令和８年12月３日（木）正午。
＜問い合わせ先＞国立情報学研究所総務部研究推進課産学連携・知財チーム公募型共同研究担当
MAIL　kyoudou [at]nii.ac.jp　[at]を@に変換。

学会情報

■第25回シンポジウム「次期学習指導要領と生活・総合ー探究の現在地と未来ー」

日本生活科・総合的学習教育学会では、標記シンポジウムを開催する。
＜日時＞令和８年11月14日（土）13:00～16:30
＜会場＞國學院大學たまプラーザキャンパス（横浜市青葉区新石川3-22-1）
＜内容＞基調提案、分科会等。要事前申込。参加費学会員無料、非会員500円。
＜問い合わせ先＞学会事業部シンポジウム担当
MAIL　akihitoaraki@gmail.com

■日本生涯教育学会第47回学会大会

日本生涯教育学会では、「地域課題の解決に資する生涯学習」をフォーラムテーマに、標記大会を対面とオンラインを併用したハイフレックス方式で実施する。
＜日時＞令和８年11月28日（土）13:00～17:40、

29日（日）10:00～15:40
＜会場＞国立教育政策研究所社会教育実践研究センター（東京都台東区上野公園12-43）
＜内容＞生涯学習研究フォーラム、研究発表、総会、会長賞表彰式等。要事前申込。参加費　会員1,000円、非会員2,000円。
＜問い合わせ先＞大会運営委員長 青山
MAIL　confe@j-lifelong.org

■AI時代の教育学会第８回年次大会・第11回日本アクティブ・ラーニング学会研究大会 合同大会

AI時代の教育学会と日本アクティブ・ラーニング学会により、「AI時代における学習環境の再設計と教育実践」をテーマに標記大会が開催される。
＜日時＞令和８年11月28日（土）10:00～17:00
＜会場＞ 中部大学（愛知県春日井市松本町1200）
＜内容＞地元企画：AI時代の教育実践ライトニングトーク、オープニングミニ講演、一般研究発表、シンポジウム、優秀研究賞 表彰式等。要事前申込。参加費無料。
＜問い合わせ先＞日本アクティブ・ラーニング学会事務局
MAIL　gik[at]gakujoken.or.jp [at]を@に置換。

各地の情報

■「ICTリテラシー向上セミナー2026 in 岡山　みんなで考える　AI・SNS時代における情報との向き合い方」開催

総務省中国総合通信局主催により、標記セミナーが開催される。
＜日時＞令和８年11月19日（木）13:30～16:30
＜会場＞山陽新聞社さん太ホール（岡山県岡山市北区柳町2-1-1）
＜対象＞自治体の担当者（情報政策・消費者行政等）、教育委員会・教職員等の学校関係者、ICTリテラシーにご関心のある学生・保護者・一般等。
＜内容＞政策説明、基調講演、パネルディスカッション。参加費無料。要事前申込。申込締切は、専用フォームにて、令和８年11月16日（月）17:00まで。
＜問い合わせ先＞総務省中国総合通信局情報通信部電気通信事業課　TEL　082-222－3375

■令和８年度文部科学省生成AIパイロット校事業指定校「高森町公開授業」

熊本県高森町教育委員会、熊本県高森町教育研究会主催により、「自立した学習者の育成」を研究主題に公開授業を実施する。
＜日時＞令和８年12月４日（金）12:40～16:00
＜会場＞熊本県高森町立高森中央小学校（熊本県阿蘇郡高森町高森1100）、同町立高森中学校（熊本県阿蘇郡高森町高森1955）
＜内容＞オリエンテーション・研究概要説明、公開授業、未来創造Lab（学習者参加型授業研究会）、有識者によるまとめ。
＜問い合わせ先＞高森町教育委員会
TEL　0967-62-0227

文部科学省選定作品

■９月選定　紙　紙しばい　D　DVD

特別選定「ほされて　ほされて　おいしくなあれ」紙12枚＜学校教育教材、幼稚園・小学校低学年／社会教育（教養）、幼児・小学校＞（株）童心社

「アニメでSST 知的障がい 発達障がいの わかりやすい コミュニケーションスキル 第２巻『続・職場編』」D58分＜社会教育（教養）、青年・成人＞（株）ウイルハーツ

「拝啓アシタ　DEAR　TOMORROW」D82分＜社会教育、成人、教養・情操（その他）＞ユナイテッドピープル（株）

短信

■一般社団法人ICT CONNECT 21は、令和８年10月、事務所を移転した。

新住所　〒105-0001東京都港区虎ノ門2-10-1
虎ノ門ツインビルディング
TEL　050-1784-4242

お詫び

本誌10月号裏表紙裏頁の「GIGAスクール対応オンライン研修会」のスペシャル講演の講師肩書およびテーマは、文部科学省初等中等教育局 参事官（デジタル学習基盤担当）浅原寛子氏「GIGAスクール構想が拓く未来の教育」でありましたこと、お詫びして訂正いたします。

※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者＜問い合わせ先＞に、ご確認ください。

国立映画アーカイブ　コンテンツ紹介9

「映画遺産 ー 国立映画アーカイブ映画資料ポータル ー 」(2)

国立映画アーカイブ任期付研究員　**宮 本 法 明**

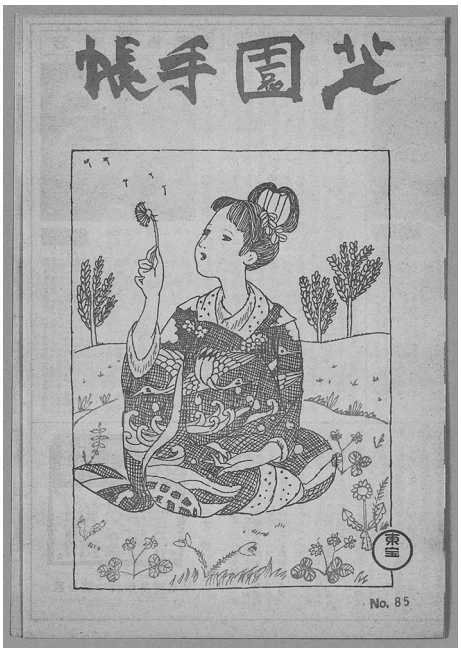
国立映画アーカイブは2023年５月に国立アートリサーチセンター協力のもと、国立情報学研究所と共同でウェブサイト「映画遺産ー国立映画アーカイブ映画資料ポータルー」（https://nfajfilmheritage.jp）を開設した。前回はそのオープンに際して公開した映画機材について記したが、今回はその後、追加した紙の資料を紹介する。

2024年５月には、第２弾の資料として故御園京平氏寄贈の「みそのコレクション」より映画館プログラム5,682点（画像あり4,449点／メタデータのみ1,233点）を公開した。大正期から昭和初期の映画館は、主として週刊のプログラムを無料で配布していた。その中には上映作品の情報や観客へのお知らせ、映画批評や投書などが掲載されており、映画館プログラムは興行記録や観客の映画体験を調査するための重要な資料である。

映画館によってプログラムにも個性があり、たとえば東京の芝園館は「芝園手帳」の表紙に竹久夢二の挿画を採用していた（**写真**）。また東横映画劇場のプログラムには、戦時下の物資欠乏で前線の兵士に対する慰問の献納封筒として再利用できるデザインの号もあり、まぎれもない歴史資料たり得ている。

2025年２月には、第３弾の資料として同じく「みそのコレクション」より映画館チラシ873点を公開した。こちらは現在でも名画座やミニシアターが発行しているチラシとほぼ同じ資料だが、明治期から昭和初期の貴重なものが多く含まれている。レタリングや刷り方に工夫の凝らされている資料もあり、映画館チラシの世界も奥深い。

前回紹介した第４弾の映画機材をはさみ、2026年３月には第５弾の資料として「みそのコレクション」を中心とする映画ポスター219点を公開した。その中には大正期から昭和中期までの日本映画だけでなく、外国映画の日本版ポスターも含まれている。視覚的に豊かなポスターは映画宣伝の花形であり、眺めているだけでも楽しむことができる資料だ。



写真・「芝園手帳」通号85号（1939年）

最近、夏休みの課題として映画遺産のサイトに掲載されているポスターのデザインを現代のポスターと比較分析しているという高校生から問い合わせのメールがあり、実際に教育現場で活用されていることに感激した。ぜひ先生方にも教材として利用していただければ幸いである。

映画遺産は国立映画アーカイブの所蔵資料を包括的に公開するためのサイトであり、これからも掲載資料を増やしていく所存である。ぜひ本サイトの今後にご注目いただきたい。